



70年前「八面山上の悲劇」材料に

著者のバークさんが初来日



昭和二十年五月七日、八面山上空で小月航空隊から飛び立った村田曹長の特攻機がB29に体当たりして、日米双方の若い兵士十二人が犠牲者となった。このうち三人の米兵はパラシュ

鎮魂の記念植樹を

資料協力の川寫理事長が案内

昭和三十二年五月七日、八面山上空で小月航空隊から飛び立った村田曹長の特攻機がB29に体当たりして、日米双方の若い兵士十二人が犠牲者となった。このうち三人の米兵はパラシュートで脱出し、村民はおにぎりや食べさせたり、死者は埋葬し、石碑まで建てた。その後、故楠木正義さんから墜落現場から少し離れた上り口の土地を提供し、八面山平和公園内に関係者が大きな記念碑や資料館を建て、毎年慰霊祭が開かれている。

少し前書きが長くなったが、七月十八日、川寫整形外科病院の川寫眞人理事長の案内で、この「八面山の



参加者に説明する川寫理事長とバークさん。中央は通訳の岸本さん。植樹を終え、記念写真に写る一行。

悲劇」を二十年にわたって調査し、自費出版した米国ウイコンシン州から中津に初めて訪れたマイク・バークさん（七六）と長女スーザン・バーク・ウイリアムズさんを紹介した。日本側は故楠木さんの長男で公園を管理する正一さん（六四）、宇佐航空隊掩体壕保存で活躍する

第20回八面山美術展開く

高速道加わった新風景も

中津のシンボリック的存在で市民から愛されている第二十回「八面山美術展」は七月十八日から三日間、文化会館で開かれた。

平成七年から旧三光村の主催で開かれてきた同美術展は二十回目を数える。

八面山スケッチ大会は五月に一般や生徒ら約百人が参加。八面山の山容をさまざまな表情で描かれた水彩画一〇七点と、過去三年の大賞作品を展示されていた。最終日の二十日、入賞者や家族連れ約九十人参加して表彰式があった。二十年

平田崇英教覚寺住職（六八）、川寫さんが所属する中津ロータリークラブ会員らが参加して「鎮魂の記念植樹」を行った。バークさんは「胸がいつぱいになった。戦死した両国兵士と一緒に慰めできることができて嬉しい」と感激した表情で話した。また多くの資料を送ってもらった川寫さんにも謝辞を述べ



あいさつする外園審査委員長

前から美術展に携わってきた絵画作家の外園雅美さん（七七）が「幼児から八十年代のお年寄りまでが参加できるのが八面山美術展の特徴

ていた。バークさんは広い全米に散らばっている遺族の家庭を回って取材した労作「エンパイア・エクスプレスの山の平和」の一冊を正一さんに贈呈した。一行はこのあとB29墜落地点や平田住職の案内で宇佐市平和資料館も訪れた。

です。今年は山容や石像、開通した高速道路が入った風景を描いた作品が多かった。レベルは確かに向上しています。」とあいさつ。なお入賞作三十一点を展示する巡回展を小幡記念図書館、道の駅「なかつ」で行った。主な入賞者は次のとおり。

敬称略

- ▽大賞 上妻七海（豊前市）
- 長崎恭子（中津市）
- ▽市長賞 田尻敏行（同）
- ▽教育賞 横松英美（同）
- ▽大分合同新聞社賞 是則孝史（吉富町）
- ▽中津文化協会理事長賞 和田信子（中津市）
- ▽中津美術協会会長賞 佃日出雄（同）
- ▽第20回記念賞 菅原百子（同）